



学校だより



令和6年4月30日
江戸川区立新田小学校
第2号

よく考える子

校長 鈴木 剛司

下に書かせていただいた話は、子供たちにも全校朝会で話した内容なので、既にご存じの方もいると思いますが、紹介させていただきます。

4月の初めに、数名の6年生が校長室を訪ねてきました。「校長先生、全校遠足におやつを持っていくのはダメなのではないですか？」という訴えでした。コロナにより無くなってしまったおやつを、何とか復活させてほしいということをお話して帰りました。「おやつ無しは『きまり』で持っていくのはダメだよ。」というのは簡単でしたが、そうだとすると、きちんと相談に来てくれた6年生を、少しでも納得させたいと考えました。そこで、6年生には「おやつを持っていくことで、良いこと、心配なことがあると思うから、それをみんなで考えてきてください。」と伝えました。

それに対して6年生は、パワーポイントを使って・楽しみや笑顔が増える。・糖分補給ができる。・算数の勉強にもなる。等の良いことその他に・ごみが出てしまうことが心配である。とまとめてきました。そして、「食べ終わった後に、必ずごみ拾いをします。」と付け加えました。6年生が中心になって、対応まで自分たちで考えたことは、良いことだと伝えました。

これだけでなく、「6年生以外の子供たちはどう考えているのか?」「お菓子が嫌いな子や食べられない子がいるのでは?」「お弁当を食べなくならないか?」「1年生のことも考えて金額はどうする?」といった私の投げかけにも、他の学年に調査に行き、対応を考えて伝えに来ました。・持っていきたくない人は持っていかない。・おやつ交換はなし。・時間を決めてお弁当を食べる。・口に長く入っているものは禁止とする。・200円までにする。という返答でした。

今回は、全教員ともこの流れを確認して、6年生に自分たちが考えたことを責任もってやってもらいたいという願いも込め、今年度限定でおやつを復活させることにしました。

さて、『よく考える子』の石碑が校内にあるのをご存じでしょうか?南門の階段下にあります。これは、本校の教育目標であり、今年度の重点にもなっています。今回の件は、ほんの1つの例であり、必ず考えたから成功するというものでもありません。『きまり』でどうしても変えられないこともあります。子供たちにも、そのことは話しています。ただ、ルール1つとっても理由があり、『どうしてそのルールがあるのか?』『どうしたら可能になるのか?』などについて考えることは、とても大切です。子供たちには、様々な場面で考える習慣を付けていってほしいです。ご家庭でも、大人が答えを言う前に「どうしてそうだと思うか?」「どうしたらいいか?」を尋ねたり、自分で調べさせたりといったことに取り組んでいただけたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



【学校公開・保護者会を終えて】

4月のお忙しい中、たくさんの保護者の方に学校公開と保護者会に来ていただきました。子供たちが嬉しそうなお顔をみせたり、頑張ろうとしていたりする姿が見られ、とても微笑ましかったです。また、終了後のアンケートでは、たくさんの温かい励ましのお言葉をいただきました。誠にありがとうございました。今後も教職員一同、子供たちが安心して自分らしさを出せる「子供の笑顔があふれる学校」を目指して励んでいきたいと思っております。

江戸川区立新田小学校 HP : <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/1310034>